

令和6年度 第3回横浜市教科書取扱審議会 会議録

日 時	令和6年7月9日(火) 13時30分から16時00分まで
開催場所	横浜市役所 みなと1・2・3 会議室
出席者	<p>(1) 学識経験のある者(3名) 井上 健、橋谷 由紀、軍司 敦子</p> <p>(2) 児童及び生徒の保護者(4名) 高杉 陽子、倉根 美帆、来本 亜希子、畦本 尚美</p> <p>(3) 校長及び教員(8名) 高橋 美都子、室伏 健治、高須 晴子、定岡 孝治、片山 達矢、 阿部 みゆき、市川 恵、川井 秀行</p> <p>(4) 教育委員会事務局職員(4名) 縫村 徹、長谷川 孝子、伊藤 紘樹、本田 邦人</p>
欠席者	平川 くみ子
開催形態	非公開
議 題	<p>1 前回会議録の確認</p> <p>2 高等学校用教科書、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書について (1) 高等学校用教科書答申案について (2) 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書答申案について</p> <p>3 中学校・義務教育学校後期課程、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書について (1) 教科書調査員報告書について (2) 生徒の学習実態について (3) 中学校・義務教育学校後期課程用教科書答申案について (4) 南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校の教科書答申案について</p> <p>4 今後の日程について</p>
決定事項	<p>1 第2回審議会会議録を確定すること。会議録は採択終了後まで非公開とすること。</p> <p>2 高等学校用教科書について、答申案を答申として確定すること。</p> <p>3 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書について、答申案を答申として確定すること。</p> <p>4 中学校・義務教育学校後期課程、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書について、次回審議会において、委</p>

	<p>員からの意見等を踏まえて答申案をさらに審議し、答申として確定すること。</p> <p>以上4点について、決定した。</p>
<p>議 事</p>	<p>1 議題1について</p> <p>第2回審議会会議録について、内容の確認を行い、委員の了承を得た。 また、会議録は採択終了まで非公開とすることが了承された。</p> <p>2 議題2(1)について</p> <p>幹事から、高等学校用教科書答申案について説明があり、答申として確定することが了承された。</p> <p>(井上会長)</p> <p>前回の審議会でも説明があったが、各学校から意見報告書として報告されたものがあり、それとは別に調査員が調査研究したところ、確かに意見報告書に書いてあるような特色を持った教科書であるということを確認し、その結果を学校ごとに、40数冊を表にしたものを答申するということ。</p> <p>3 議題2(2)について</p> <p>幹事から、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書答申案について説明があり、答申として確定することが了承された。</p> <p>(定岡委員)</p> <p>特別支援学校の観点から感想を述べる。意見報告書では、各教科等において、どのようなことを狙いとしているかが分かった。これは、個別の教育支援計画、個別の指導計画に即した報告書だと思った。これを基に作成された答申案は、特別支援学校及び個別支援学級の児童生徒一人一人の実態に合わせて作られていると感じた。</p> <p>(井上会長)</p> <p>各学校からこういった教科書を使いたい、それぞれのお子さんの状況、教育支援計画に合わせた内容のものが適切であるとして意見報告書が提出され、調査員の報告書と合わせてこの答申案がまとめられている。</p> <p>点字や星印本、一般図書を使う場合もあるので、中学校や高等学校で使う教科書よりもバラエティに富んでいるが、これが適切であるとしてこの答申案が作られている。</p>

4 議題3(1)～(3)について

幹事から、中学校・義務教育学校後期課程の教科書調査員報告書、中学校・義務教育学校後期課程、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校における生徒の学習実態、中学校・義務教育学校後期課程用教科書答申案について説明があった。

(片山委員)

答申案を読んで、具体的な調査項目の視点が示されている。例えば、38ページには、社会科の観点2⑥の「具体的な調査項目の視点」の「構想（選択・判断）する力の育成」と書いてあるが、このような調査の視点は具体的に各教科どのように決めているのか。

(本田幹事)

採択の基本方針に、観点が3つあり、そこから各教科共通の具体的な調査項目が定められ、さらに教科ごとに具体的な調査の視点を設定している。

(神村幹事)

観点2⑥では、教科だけでなく全体的なものとして、「地域の歴史や、伝統文化を理解したり、その魅力を発見したり、将来や社会とのつながりを学んだりするために、よりふさわしい」とある。この後半の部分の「将来や社会とのつながりを学んだりするために」の部分として、社会科として定めた視点が、「構想（選択・判断）する力の育成」になっている。社会科では、社会における課題を把握して、その解決に向けて構想する学習が求められている。この「構想する」という言葉がよく出てくるが、これは、単に「考察する・考える」だけではなく、新しい未来を、新しい社会を選択・判断するという意味合いが「考える」にプラスして含まれている。調査項目の「将来や社会とのつながりを学んだりするために」の部分で社会科の調査員が「構想する力の育成」というように具体化し、それぞれの教科書でそれに向けた学びをどのように設定しているのか、ということが調査されて報告書にまとめられている。

(片山委員)

社会科を学んでいる身としては、構想をするというのが大切だと思っている。その視点で調査されていることに納得できた。

他の教科でも同じように教科として大切にしている視点が 答申案に盛り込まれていると感じた。

(縫村委員)

第1回にも説明があったかと思うが、外国語のデジタル教科書について、質問させてほしい。観点3②に調査結果が答申案にも書かれているが、もう少し具体的に説明してほしい。

(兵頭幹事)

全者のデジタル教科書を使用して確認してみたが、一見するとページのレイアウトだとか、違いがあるように見えるが、実際には答申案にあるように、英語話者による音声で、単語や文の発音であったり、ストーリーの動画であったりと、どの出版社も同じような機能になっていたかと思う。

(縫村委員)

先程、少し触ってみて、まだ、使い勝手が分からない点はあるが、確かに音声であったり、説明の動画であったりと違いはあるが、答申案に書いてあるように、機能としては同じものが付いているのかなと感じた。

(井上会長)

まとめにあるように「全者適切である」の後にある何々の出版社の教科書により工夫が見られるというところまでは、調査した結果、言及できないという状況にあるという理解してよろしいか。

(兵頭幹事)

そのとおり。

5 議題3(4)について

幹事から、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書答申案について説明があった。

(井上会長)

両校は市立の学校なので、学習指導要領や横浜教育ビジョン2030を目指すことは当然であるが、答申案の3にあるように、同じ教科書を使うことで、両校の実践の成果を他の学校に提案し、さらに深めていくことが期待されている。

今までも両校での研究、特に教育実践に係って行われたことが、他の中学校の研究会等で成果を共有したり、さらに実践を深めていくといったことがあったのか。

(小出幹事)

例えば南高附属中学校については、英語科の5ラウンドという教科書を繰り返し使っていくことにこれまでも取り組んできた。現在では市立中学校の中でも横浜ラウンド推進校が増えてきており、実践に取り組んでいる。

第4期横浜市教育振興基本計画でも英語によるコミュニケーション能力の育成ということで、中学校では、4技能を繰り返し学びながら、豊かなインプットと個に応じたアウトプットを行う横浜ラウンド制の指導を発信し、聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく育むというところに発展している。

一方、横浜サイエンスフロンティア高校附属中学校では、具体的にそのようなものは現時点ではないが、先月も市の中学校の理科の教員の研修会が同校で行われ、理科の研究授業や実験施設などを見てもらうようなこともやっている。

また、横浜サイエンスフロンティア高校では、小中学生を対象としたサイエンス教室を行い、小中学生が附属中の実践を体験する機会も設けている。

附属中学校の多くの先生に教育課程委員として入ってもらっており、取組の周知やその取組を通じた成果を還元している。

(井上会長)

市立中学校と2校の附属中学校は、分けて検討してきたが、結論としては、同じ教科書を使うのがよいのではないかと考えたということ。

(来本委員)

同じような観点だが、南高校附属中、横浜サイエンスフロンティア高校附属中は中高一貫校ということで中学・高校と連続したカリキュラムでの学びであったり、南高校附属中では英語、サイエンスフロンティア高校附属中では理科教育に力を入れるという設立の主旨・背景があったと思うが、そういった観点や背景に基づく教科書選定、こういう教育をしてほしいという横浜市としての考え方があってもいいのではないか。それを踏まえても、やはり同じ結果となるのか。教科書の選定は別の扱いとして今回の答申案となったのか。

(小出幹事)

南高校附属中学校、横浜サイエンスフロンティア高校附属中学校は、今、お話ししていただいたように、設立の主旨・方針に基づいて開校している。平成24年に南高校附属中学校、29年に横浜サイエンスフロンティア高校附属中学校が開校している。

開校にあたり、教科書採択では、同じものを使っていくという話があった。

開校当時から、南高校附属中学校では教科書を繰り返し使っていくというところを開発し、この実践が広く他校に普及していったところもあった。

また、横浜サイエンスフロンティア高校附属中学校では DEEP 学習を設立当初から組み入れている。これは学習指導要領や横浜教育ビジョン 2030、これまでの本市の教育振興基本計画の中で目指す横浜の市立中学校の子どもたちを育てていくという中で、サイエンスだけに特化していくわけではなく、中学校段階では、学んだことを深掘りしていくというもの。設立の主旨は保った中で、教科書は同じものを使って広く普及していくことも使命としてとらえている。

(井上会長)

今の質問の背景には、特別な学校として開校したという部分があるのではないかと、それなら同じ教科書でなくてもいいという考え方があってもいい。そういう中で、同じ教科書を使うということならば、それがもう少し文脈の中にあってもいいのではないかとということだと思ふ。

答申案については、次回確定に向けて審議していくが、現時点で、どこをどう変えるという話ではないが、もう一度点検して、反映できることがあれば反映していただきたい。

答申案については、この文章だけで、あとは市立中学校と同じであるから省略しているということか。

(小出幹事)

そのとおり。

(井上会長)

答申のスタイルが、高校と特別支援学校は似ているが、中学校のものとは大きなところで体裁が変わるので、少し違うものとして考えていただきたい。採択の観点が見え、それが深い学びに係り、教科ごとにどの部分を大事にしていくかが違い、また、教科の目的や構造によって、こういう点が大事ではないかと調査員が調査した結果が見え、大きなところでは検定を通った教科書だから相応しくないという教科書はなかったかと思うが、特に、工夫されていた点が幾つか挙げられていた。ただし、教科によっては、工夫されている点は1者ではないので、全部で5者であったり、3者であったりすれば、それぞれに工夫されているということが出るので、別の自治体であれば、横浜市が選ばない教科書を選ぶ場合もある。でも、大きなところでは問題はない、特色はこういうところに工夫があるということを示して、採択は教育委員会

	<p>が行うという形になっている。それと同じような観点で、市立の学校と、2つの附属の学校とで分けて示されていて、調査をした結果、同じでよいのではないかということで答申案が示されている。</p> <p>5 議題4について 幹事から次回の審議会開催日程について提案があり、第4回を令和6年7月18日（木）に開催することが了承された。</p>
<p>資 料 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度第3回横浜市教科書取扱審議会次第 (2) 令和6年度第2回横浜市教科書取扱審議会会議録 (3) 中学校用教科書答申案説明資料 (4) 横浜市教科書取扱審議会委員名簿 (5) 令和6年度横浜市教科書採択の基本方針 (6) 諮問文（写し） (7) 横浜市教科書取扱審議会条例 (8) 令和6年度教科書採択スケジュール（案） (9) 令和6年度 教科書採択手順 (10) 令和7年度使用教科書の採択事務処理について（文部科学省通知） (11) 小学校用教科書目録（令和7年度使用） (12) 中学校用教科書目録（令和7年度使用） (13) 令和6年度使用 中学校・義務教育学校後期課程、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書一覧 (14) 教科用図書調査研究の結果（県教委作成） (15) 中学校教科書調査員報告書 (16) 市立中学校、附属中学校における生徒の学習実態 (17) 中学校答申案 (18) 高等学校用教科書目録（令和7年度使用） (19) 高等学校教科書調査員報告書 (20) 高等学校教科用図書意見報告書 (21) 高等学校答申案 (22) 特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和7年度使用） (23) （特支・個別）令和7年度用教科用図書選定参考一覧 (24) （特支・個別）教科書調査員報告書 (25) （特支・個別）答申案

2 特記事項

審議内容及び審議資料については、採択が終了するまでは非公開とする。